

# 成長する「オヤジ」といってやるのはあたりまえ

株式会社ワールド山内

世界に通ずるモノづくり企業を目指し1983年に社名変更した株式会社ワールド山内。北海道・北広島市大曲工業団地に板金の主力工場を構え、道内のみならず日本全国に確かな技術を提供する。2005年8月に新設した本社は経営方針を具現化したガラス張り。そして工場内に所狭しと立ち並ぶ最新鋭の加工機群を納期短縮と量産対応のためネットワーク化・ライン化して管理する。いわば次世代の板金加工ファクトリーといっても過言ではない。

## 夢を持ち、夢を叶える

55年、山内静治氏が4歳の頃、同社の前身となる山内鉄工所が創業した。当時は鉄の溶接や農機具部品の製作、水道ポンプの取り付けを父親の鉄雄氏が細々と請け負っていた。



若いスタッフが活躍する現場。

北海道の多くの中小企業は先細りに頭を抱えている。しかし同社は最新鋭の設備を導入（昨年末

## 真のモノづくり

世界へ羽ばたこう！」  
当時21歳だった山内氏の挑戦は、35年たったいまも変わらぬ思いで突き進んでいる。

だが、山内氏はその時思った。「ミュージシャンであってもモノづくりであっても目指すところは一緒だ。モノづくりで

山内氏は中学の頃からドラマーとして札幌の繁華街ススキノに入り浸るといふ生活を送っていた。大学卒業後の進路はミュージシャンを目指し渡米をすることを強く心に決意。しかし、鉄雄氏が病に倒れたことがきっかけで、山内鉄工所を継がざるをえない状況となる。だが、山内氏はその

には新たに二台のマシニングが追加し、10代20代の若いスタッフが顔をそろえる。この違いはなんなのか？  
「私たちは決して特別ではない。実現するため絶えず行動し努力する。20年前と同じことをやってもいまに通用しない。永遠に成



最新鋭の設備が立ち並ぶ。

長し続けることはあたりまえなのです」  
モノづくりに対し信念を持ち、従業員に対して真の教育を実践する。常に10年、20年先を見据えて

「ようやくワールド山内が真のモノづくり企業として戦える土俵に立てた。本当の勝負はこれから」と、謙虚に語る山内氏だが、その脳裏にはすでに10年後・20年後の未来が見えている。それはまぎれもなく思い続けた夢の実現である。

編集部／金澤亜希子



## Company Profile

株式会社ワールド山内（大曲工場）

所在地：北海道北広島市大曲工業団地4丁目3-33

TEL:011-377-5766 FAX:011-377-5779

担当者：取締役社長 山内静治

事業内容ステンレス製品の高度技術加工、非鉄金属加工、金属加工、レーザー加工

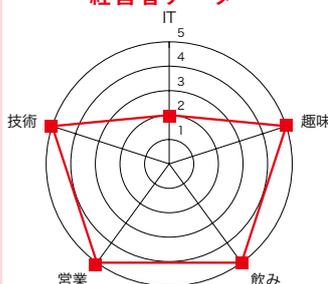
エミダス会社・工場詳細情報：

<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?5234>

※「エミダス工場検索」のキーワード検索「ワールド山内」で検索できます。

（写真／引地信彦）

## 経営者データ



株式会社ワールド山内  
取締役社長 山内 静治

## 経営者 Profile

21歳で、山内鉄工所（現ワールド山内）を継承し、世界進出という夢に向かって従業員と共に走り続けている。同時に、二代目・三代目の後継者、従業員に向けて「真の教育」に力を注ぐ。「仕事も遊びも半端は許さない。やると決めたらとことんやる！」がモットー。

●趣味 音楽（JAZZ）、ドラム（週に1回はドラムを叩く）、仕事